

平成30年度第1回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時・場 所	平成30年7月9日（月）午前10時半～ 多度地区市民センター3階305会議室
出 席 者	委員：6名 事務局：11名 傍聴者：2名
議 事 次 第	1. 開会挨拶（企画総務課長） 2. 議事 （1）会長、副会長選出 （2）平成30年度上下水道事業当初予算の概要について （3）桑名市上水道事業基本計画の見直しについて （4）その他 3. 閉会挨拶
要 旨	1. 開会挨拶 開会后、上下水道部長より挨拶 2（1）会長、副会長選出 ・会長に宮脇淳委員、副会長に鶴田利恵委員を選出。 （2）平成30年度上下水道事業当初予算の概要について 事務局より水道事業会計の予算について説明 ・水安全計画の作成について。 ⇒当初は業者委託を予定していたが、厚生労働省より作成支援ツールが提供されたことから活用して自課で作成予定。 ・建設改良費の執行状況について、経営戦略と予算額との間に乖離があることから経営戦略の見直しを検討していることについて、経営戦略は料金改定の根拠にもなっており、次回の審議会において見直しを行う理由について示してもらいたい。 ⇒経営戦略の見直しを行う必要性及び修正の概要について、次回審議会で説明させていただく。 事務局より下水道事業会計の予算について説明 ・流域下水道建設負担金について経営戦略と比較して金額が倍以上となっている理由は？ ⇒北部処理区の建設事業費により負担額が決定される。負担割合については、関係市町の日最大計画汚水量の割合により算出しており、経営戦略作成時と比べて負担額及び負担割合が増加していることが要因。 ・他会計繰入金について。 ⇒総務省繰出基準に基づくもの（基準内）及び基つかないもの（基準外）の繰入を行っている。総務省繰出基準に基つかないもの（基準外）については減少傾向であり、財政部局と協議を行っている。 ・企業債について。

⇒債務償還年数40年で借入を行っている。残高は水道については約44億円、下水道については約300億円。

(3) 桑名市上水道事業基本計画の見直しについて

事務局より桑名市上水道事業基本計画の見直しの概要について説明

・桑名市新水道ビジョン、桑名市上水道事業基本計画、桑名市上下水道事業経営戦略の位置付けについて。

⇒桑名市新水道ビジョンは長期的な事業運営の指針を示したもの。桑名市上水道事業基本計画は中期的な10年程度の将来目標の設定とこれを達成するために必要な具体的施策と方向性を示したもの。桑名市上下水道事業経営戦略は事業を行っていくために必要な投資及び財源を試算した経営計画であり、上水道事業基本計画の見直しの内容によっては経営戦略に影響を与える。

・水量について企業の需要の動向が大きな影響を与えると思われるが、企業誘致や企業の節水対策技術の向上等について計画ではどのように捉えているのか？

⇒企業の節水対策技術の向上により減少する水量も含めて試算している。桑名市の商工課と連携し企業に提供できる水量を確保するとともに、大口企業に対しては要望に沿った水量を提供できるように調整している。

(4) その他

事務局より、次回の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

(以上)